

和歌山県立南紀はまゆう支援学校 学校運営協議会

令和5年度 第1回 【6月27日】 10:00～11:30

出席者：委員7名 傍聴者 7名

会議の流れ

- ① 学校長あいさつ
- ② 学校運営協議会委員委嘱 任命書の交付
- ③ 学校運営協議会についての説明
- ④ 会長・副会長の選出
- ⑤ 授業見学
- ⑥ 学校運営方針について(説明、協議、承認)
- ⑦ 質疑応答
- ⑧ 参観の感想等
- ⑨ 今後の学校運営協議会の持ち方について(説明、質疑、承認)
- ⑩ 質問・意見交換等
- ⑪ その他
- ⑫ 各分科会

概要

【議論した主な内容】

- ⑥ 南紀はまゆう支援学校学校運営の重点方針の提案及び協議
 - 県立南紀はまゆう支援学校の現況について
 - 令和5年度学校運営方針
 - 令和5年度一般事業所で働く卒業生
 - 今年度の重点目標、具体的な取組、評価項目と評価指標
 - 今年度の学校の取り組み
 - 今年度の行事
- ⑧ 参観の感想
 - 新しい校舎で、少人数で圧迫感のないよい環境で学びができています。
 - 2校舎運営で先生方の人員配置も考えられていますが、入学者が増えて、より手厚い指導が必要な児童生徒がいる中で、感染症、熱中症等にも丁寧に配慮されている。
 - 様々な発達段階の子どもに合わせて取り組んでいる。
 - 旧南紀支援学校の保護者ですが、旧はまゆう支援学校の子どもたちの様子が見えて良かった。このような参観できる機会があれば、それぞれの障害部門のお互いの理解が深まると思った。
- ⑨ 今後の学校運営協議会の活動(予定、進め方)について説明及び協議
 - 4つの分科会、研究推進支援、キャリア教育支援、学校安全、地域連携支援に分かれて課題解決を図っていく。
- ⑫ 分科会
 - 〈キャリア教育支援〉
 - 就業体験等現場実習をさせていただける企業の増加を目指したい。
 - 南紀はまゆう支援学校のことを企業に知ってもらう機会が必要である。

- 就業体験を通して、雇用につなげていきたい。
- 永く障害者雇用が続いている成功事例の見える化を図るため、広報誌を作成する。
- ICTを活用した授業を通して、デジタルワーク等障害者の働き方の可能性を拡げる。

〈地域連携〉

- 相談支援センターより、西牟婁圏域の医療的ケア対応について情報提供
- 高等部の現状
 - ・物づくり班では、彦五郎に製品を置かせていただき、販売活動をしている。
 - ・清掃班では、岩田公民館やエバグリーンで清掃活動をさせてもらっている。
 - ・リサイクル班、リサイクル活動のチラシを地域に配布し、回収に廻っている。
 - ・肢体教育部門は、紙すきでつくったはがきを郵便局へ届けている。
- 中学部の現状
 - ・中学部では、コロナ禍で取組が減って、フラワータウンのみさせていただき、近隣の学校や施設へ届けさせてもらっている。
 - ・梅取りや田植え等に活動を拡げて、地域の方々と一緒に取り組みたい。文化祭等にも参加してもらいたいが、どのように依頼していけばよいのか、分からない。
- 今後に向けて
 - ・JAや農家に早い時期に梅拾いの依頼をすると喜んでもらえる。
 - ・田辺市新庁舎に設置するカフェでの接客等の職場体験の提案が可能である。
 - ・障害者ファッションショーで成人式、卒業式、結婚式をイメージしたモデルを募集している。

